資料 1

日本装身具文化史年表　（明治期～大正期）

年	社会・文化	技術・販売・流通	絵画・小説・文献
安政2年	パリ万国博覧会開催		
明治4年	散発脱刀令勅論	装剣金工家・装身具に転じる	
5年	官務員の礼服は洋服と決まる		
	京都博覧会	ダイヤモンド45個入り金時計出品 天皇・皇后の洋装の装飾品としてフランスより ダイヤモンドの指輪・髪飾りなど取り寄せる	
6年	ウィーン万国博覧会開催	純金製の指輪出品	『新聞雑誌』婦女子等の指に輪金を 用いるは当今一般の流行 『読売新聞』
7年	女子師範学校設置		
9年	廃刀禁止令布告	装身具に転じる彫金家が増える	
10年	第1回内国勧業博覧会開催	指輪出品される	島根・特産品めのう指輪販売される
11年	パリ万国博覧会開催	天野工場創業	『明治事物起源』 月岡芳年「見立多以儘」 豊原國周「開花人情鏡焼芰」
12年		天賞堂創業	『東京名工鑑』刊 『朝日新聞』創刊
14年	第2回内国勧業博覧会開催	村松万三郎・指輪出品 服部時計店創業	
16年	鹿鳴館落成	大山巌・山川捨松に婚約指輪贈る	
17年	「華族令」布告	植田商店創業	楊州周延「鹿鳴館　貴婦人」
18年	ニューンベルグ金工万国博覧会開催 婦人束髪会結成	金工作品出品	「大日本婦人束髪図解」
19年	華族女子・正装が洋服	ティファニーセッテッイング発表	
20年		昭憲皇太后・ジュエリー一式をベルリンに発注	『国民の友』創刊 昭憲皇太后「金剛石」「思召書」
21年		丸嘉創業	「新吉原全盛別品競」
22年	パリ万国博覧会開催	皇后・ダイヤモンドの髪飾りとネックレスの正装で撮影される	
23年	第3回内国勧業博覧会開催	天賞堂絵入り指輪広告	豊原國周「見立春夜24時間」
24年		天賞堂ダイヤ・サファイヤ・ルビー・エメラルド・オパール 入り指輪の広告「国民の友」 美人写真コンクールの賞品に金時計と指輪	
25年		玉宝堂・広告 清水商店創業	『風俗画報』創刊
26年	シカゴ万国博覧会開催	村松万次郎白金の溶解に成功 シカゴ博覧会に「人体粧飾品及携帯品」出品 御木本幸吉・半円真珠養殖に成功	『東京百事流行案内』刊
27年		天賞堂・広告	
30年		「昭憲皇太后肖像」	楊州周延「真美人」 尾崎紅葉「金色夜叉」
32年		御木本真珠店開業 三井呉服店・商品カタログ「花ころも」刊行	『東京風俗志』発行
33年		三越改装・貴金属売場出来る	
35年		仏ベルヌイ・合成ルビー開発 キリスト教式結婚式の指輪	『東京風俗志　下巻』
37年	日露戦争	初の結婚指輪広告『服装新聞』植田商店	鏑木清方『秋宵』
38年		御木本幸吉・真珠養殖成功	『婦人画報』創刊

資料 2

日 本 装 身 具 文 化 史 年 表　（明治期～大正期）

年	社会・文化	技術・販売・流通	絵画・小説・文献
38年		三越呉服店広告・全国誌掲載	内田魯庵『指輪』
39年			山本松谷『いま姿』シリーズ』
40年		アールヌーヴォ影響のデザイン指輪	203高地髷流行
41年		『時事新報』新春号付録岡田三郎助『指輪』	
44年		三越呉服店広告	橋口五葉『此美人』
大正1年		アメリカで誕生石制定 三越・誕生石の販売	
2年			
3年	第1次世界大戦	国内初の立爪指環発売	
5年		服部時計店・ダイヤモンド入り白金指輪売り出し	『婦人公論』創刊
6年		御木本真珠店・皇后の第1公式ティアラ製作	
9年		サイズリング登場	
12年	パリ万国博覧会開催	御木本真珠店「矢車」出品	

著者が『日本装身具史』を参考に作成する

図 1



明治11年　月岡芳年

「見立て多以儘」

錦絵　大判　日本クラフト学院蔵



拡大図

図 2



明治23年　豊原国周「見立春夜二十四時　午后七時」

錦絵　大判　23.5×36.7cm　町田市立国際版画美術館蔵

図3



明治30年　楊州周延「真美人　十四」

錦絵　大判　38.6×25.4cm　　町田市立国際版画美術館蔵

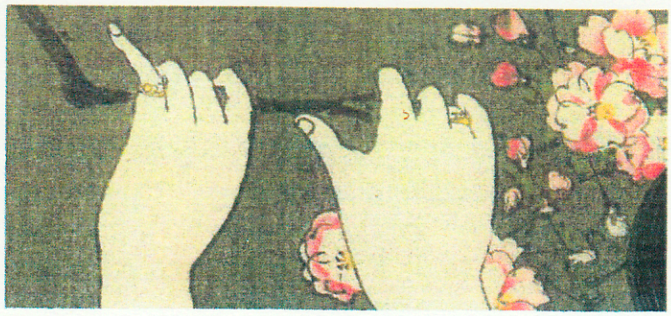


「真美人 十四」部分

左手珠付指輪

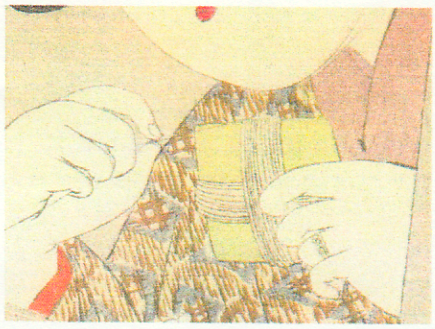
図４　　明治39年　山本昇雲「いま姿シリーズ」　錦絵大判





「いま姿　一枝」　　部分　　左右の手に指輪

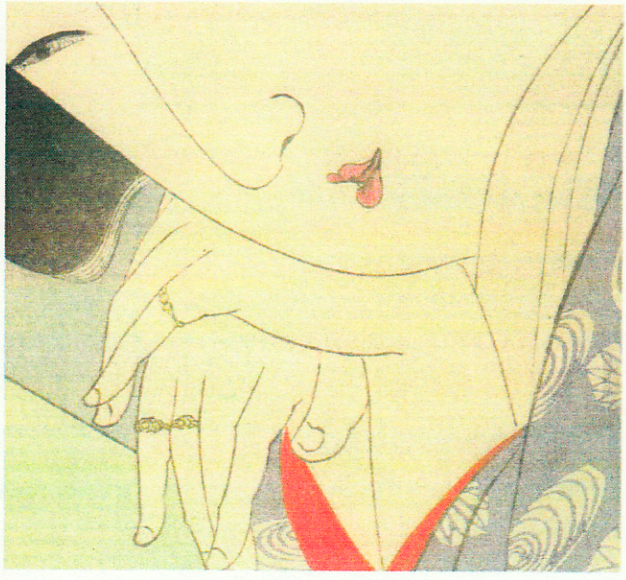




「いま姿　おてつだい」左手指輪

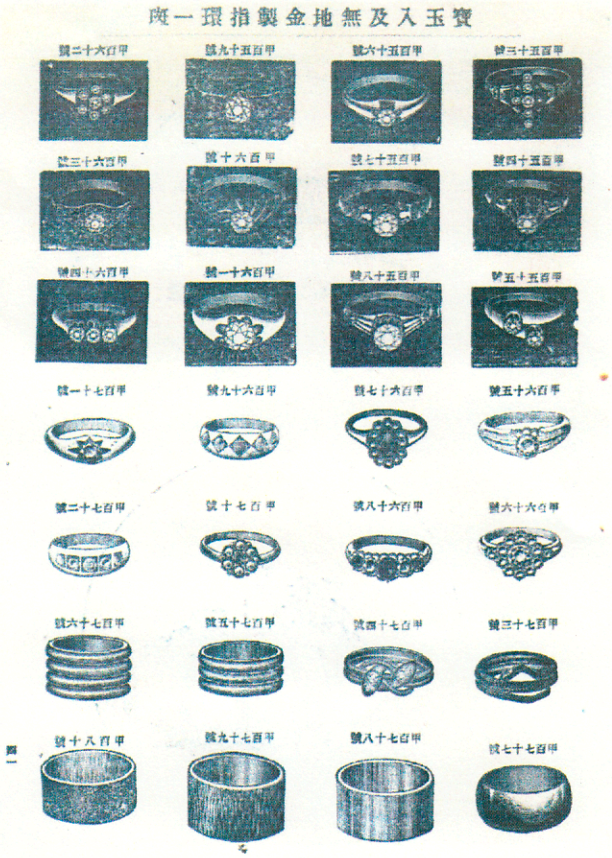


「いま姿　えまきもの」



「いま姿　えまきもの」部分　両手・デザイン違い指輪

図 5





山本松谷「佳秋図」

母親の装着する指輪

明治33年5月2日発行

天賞堂「営業案内一覧」

p.41

甲154～168まで

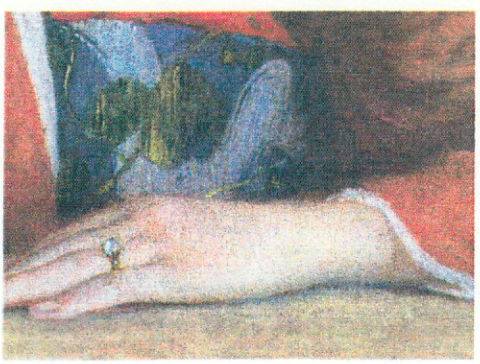
18金ダイヤモンド指輪

図 6



明治41年　岡田三郎助「ダイヤモンドの女」

油彩　カンヴァス　48.0×34.0cm　個人蔵



「ダイヤモンドの女」 指輪　拡大図

明治41年　岡田三郎助「ダイヤモンドの女」

油彩　カンヴァス　48.0×34.0cm　個人蔵

図 7





明治44年　橋口五葉「三越ポスター此の美人」

石版多色摺　　平木浮世絵美術館蔵

101．7×71．6cm

図 8



明治40年　グィード・モナリー

「昭憲皇太后像」

油絵　カンバス　95.9×74.5cm

東京都庭園美術館蔵

図 9





明治35年頃　　山本昇雲

「佳秋図」絹本着色一幅

163.5×84.0cm　　高知県立美術館

部分　　女学生左手・石付指輪

母親・右手石付指輪

図 10





明治40年

鏑木清方

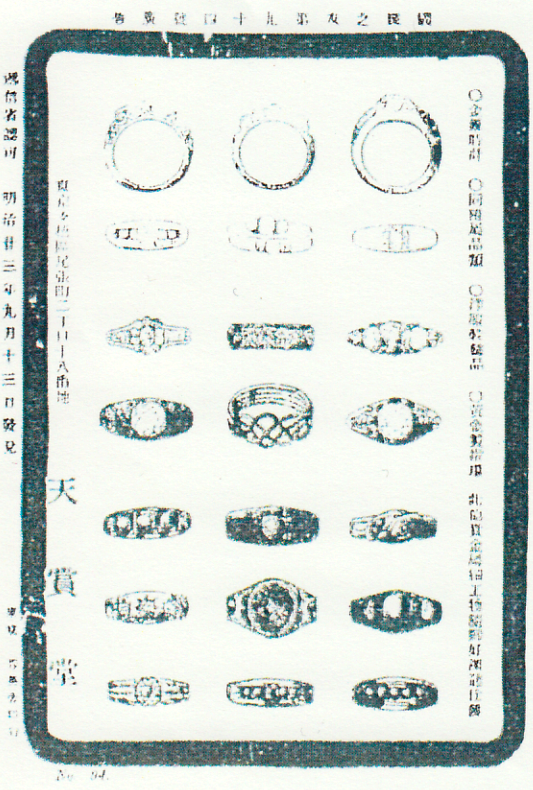
「嫁ぐ人」

絹本着色

軸　182.8×115.4 cm

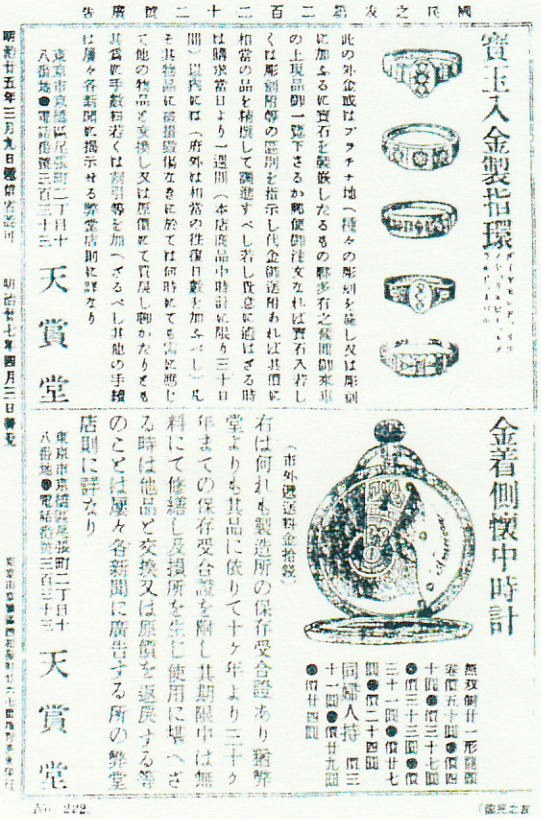
鏑木清方記念美術館

図 11



「国民之友」(縮小)

図 12



明治23年9月　天賞堂　広告

初の絵入り指輪広告　『国民之友』第94号

『日本装身具史』より転写

明治27年4月3日　天賞堂広告

『国民之友』 No. 222

『日本装身具史』より転写

図 13

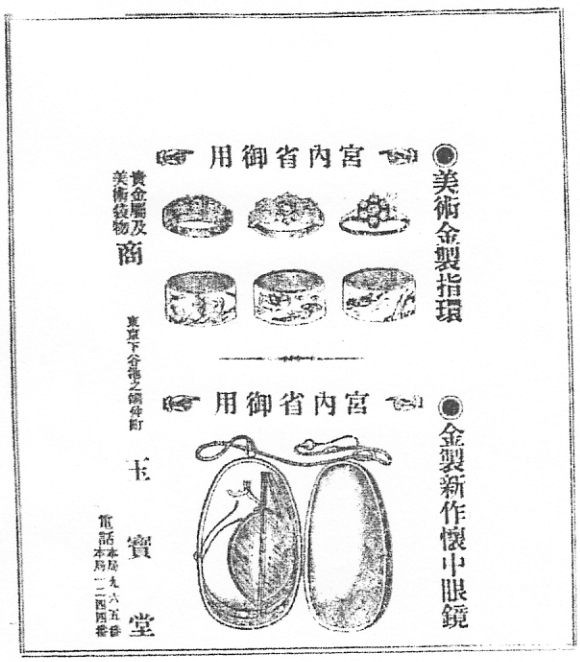


『明治風俗画集成　目でみる明治時代　参』図書刊行会　1986年

「新年の動物園」「東京勧業博覧会」「外国館」

さしえ　山本松谷（昇谷）石版

図 14



明治25年3月　玉寶堂広告

『風俗画報』

『日本装身具史』より転写

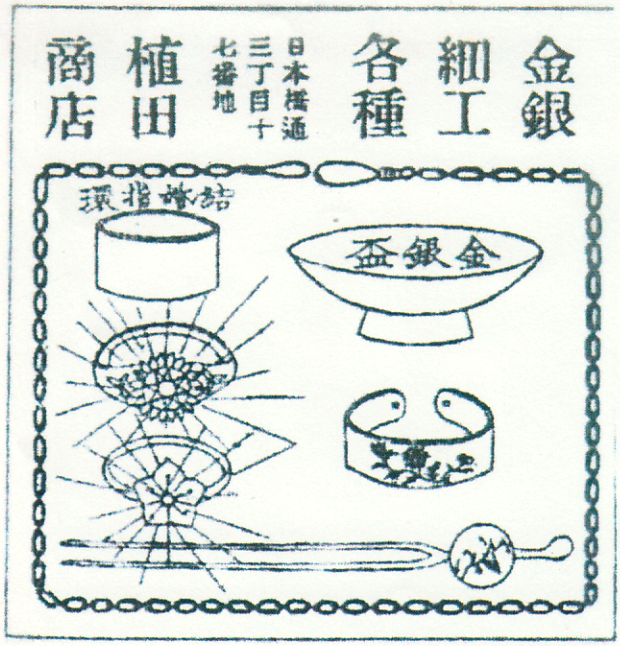
図 15



明治30年7月『風俗画報』144号　天賞堂広告

『日本装身具史』より転写

図 16



「日本装身具史」P122

明治37年6月　植田商店　　初の結婚指輪広告

『服装新聞』『日本装身具史』より転写

図 17



明治19年クラシック・ソリティアダイヤモンド指輪

プラチナ・　ティファニー・アンド・カンパニー蔵

図 18



明治35年　鏑木清方「孤児院」　絹本着色　軸

186.5×116.8　　鎌倉市鏑木清方美術館蔵



机にしたの下女の手に地金の指輪

図 19



明治41年2月　關口用品店広告

『婦人世界』

寸法B5

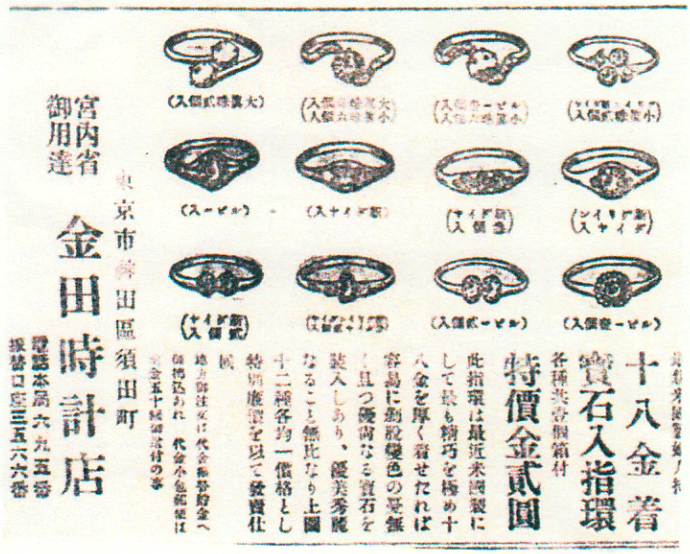
日本宝飾クラフト学院蔵



女学生の両手の指輪

右手真珠　左手石付指輪

図 20

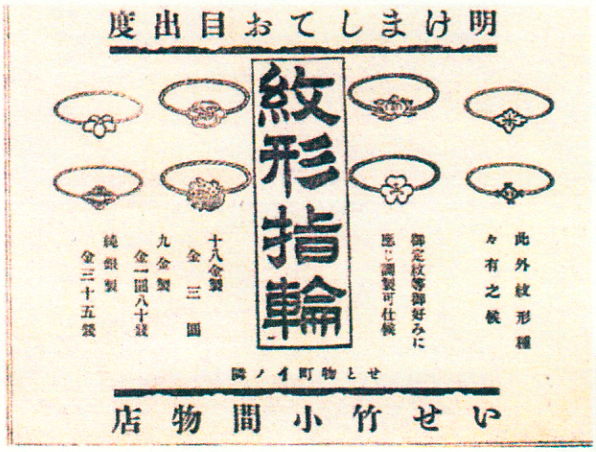


明治44年　金田時計店

『演劇画報』 寸法B5(2分の1

日本宝飾クラフト学院蔵

図 21



明治45年1月　いせ竹小間物店　広告

寸法　B5(2分の1)

日本宝飾クラフト学院蔵

図 22　右

明治45年8月　大西白牡丹広告『婦人世界』

寸法　菊判　日本宝飾クラフト学院蔵

